

報告

# 加深理解遗华日本人等的集会（在东京）》圆满结束！

## 『中国残留邦人等への理解を深める集い in 東京』、終了！



11月24日秋高气爽的这一天，由首都圏中国帰国者支援・交流中心主办的《加深理解遗华日本人等的集会（在东京）》在东京都心日比谷公园会馆顺利举行。受多家媒体刊登活动预告的带动，临近举办日报名人数增加，盛况空前，主办方不得不在前一天提前截止报名，当天的来宾人数达164名。感谢各位来宾的光临。

今年正值战后80周年这一重要历史节点，活动主题被定为“向下一代传承”。在活动安排方面，除了惯例的战后世代讲述人的讲演外，还播放了关于中国、库页岛遗留日本人的背景情况的影像资料，另有讲述人培养项目总顾问加藤圣文先生（驹泽大学文学系教授）的专题演讲，题目为《从“讲述”走向“讲述传承”-战争记忆传承的新尝试-》，此外，还设置了关于“讲述传承之事”的讲述人座谈会。

关于座谈会部分，我们从到场来宾的问卷中收到了多样的反馈，既有“通过讲述人本人的亲口讲述，能了解到讲述内容的背景，非常好”的评价，也有“仅讲述内容信息量已超负荷，无暇深入思考‘传承’问题”的意见。这些反馈对我们主办方而言，是规划未来年度活动的重要学习经验。



讲述人讲述现场  
語り部講話

あきば がつ か しゅとけんちゅうごくきこくしゃしえん  
秋晴れの11月24日、首都圏中国帰国者支援・  
こうりゅうせんたーしゅさい  
交流センター主催の『中国残留邦人等への理解を深  
めるとしん ひびやこうえん ほーる  
める集い in 東京』が都心の日比谷公園のホールにて  
かいさい かくし こくちきじ けいさい  
開催されました。各紙が告知記事を掲載してくれた  
ことともあつて さんかもう こ ちやくぜん ぶん ぜんじつ  
こともあつて参加申し込みが直前に増え、前日に  
うけつけ し き せいきょう とうじつ  
受付を締め切らせていただく盛況となり、当日の  
さんかしゃすう めい らいじょう みな  
参加者数は164名となりました。ご来場の皆さん、  
ありがとうございました。

ことし せんご ねん ふしめ とし てーま  
今年は戦後80年という節目の年でもあり、テーマ  
じせだい けいしやう す ぶろくらむ  
を次世代への継承に据えました。プログラムとして、  
こうれい せんごせだい かた べこうわ くわ ちゅうごく からふと  
恒例の戦後世代の語り部講話に加え、中国・樺太  
ざんりゅうほうじん はいけいじじょう えいぞうしりょうじょう  
残留邦人の背景事情についての映像資料上  
えい かつ かつ つ せんそうたいけんけいしやう  
映、「語る」から『語り継ぐ』へ-戦争体験継承の  
あたらし ところ だいい かつ べいくせいじぎょうそうごうあ  
新しい試み-と題して語り部育成事業総合ア  
どばいざー かとうきよみみ こまざわだいがくぶんがくぶ  
ドバイザーである加藤聖文さん（駒澤大学文学部  
きやうじゅ こうえん かた べじしん かた つ  
教授）の講演や、語り部自身が「語り継ぐこと」に  
ついて語る座談会を設けました。

ざだんかい  
座談会については、ご来  
じやう みな あんけーと  
場の皆さんのアンケート  
から、「語り部自身の生の  
こえ こうわ はいけい し  
声で講話の背景が知れて  
よかつた」という声から「講  
わないう ぎゃぱ ちやう  
話内容だけでキャパを超えて  
けいしやう あたま まわ  
『継承』にまで頭が回ら  
ない」という声まで多様な感想が寄せられ、主催者  
として来年度以降への大きな学びとなりました。



座談会現場  
座談会